

平成26年度 文化庁日本語教育大会
「生活者としての外国人」のための日本語教育ワークショップ
第2分科会

行動・体験中心の活動をデザインしてみよう ～「教材例集」を参考に～

2014年8月30日 昭和女子大学

内藤 真知子
(公益社団法人国際日本語普及協会)



第2分科会へようこそ！

1

- カリキュラム案って
どうしてできたの？
- 標準的なカリキュラム案って？

2

- カリキュラム案で示される
「行動・体験中心の活動」って？
- 事例紹介
～ 難民支援の現場から ～

3

- 行動・体験中心の活動を
デザインしてみよう。

ミニ
ワークショップ



4

- 教材例集活用の留意点
- 質疑応答

1 「標準的なカリキュラム案」について



- 「標準的なカリキュラム案」誕生の背景・課題・経緯
- 「標準的なカリキュラム案」の内容
- 「標準的なカリキュラム案」をどう活用するか
－教材例集を中心に－

背景・課題



仕事や研究...ではなく、生活の部分に対する日本語教育について検討。

【グローバル化】

- グローバル化が推進し、人の国際的な移動も活発化
- 日本に在住する外国人数の増加
約108万人（平成2年末）⇒約207万人（平成25年末）
- 日本国内の日本語学習者数の増加
約6万人（平成2年末）⇒約16万人（平成25年末）

【目的に対応した日本語教育の必要性】

- 生活上の基盤を形成する上で必要となる日本語教育（「生活者としての外国人」に対する日本語教育）の内容・方法が十分に開発されておらず、開発が必要。





文化庁文化審議会国語分科会日本語教育小委員会において

【どんな人が活用する？】

一義的には各都道府県、市区町村における日本語教育担当者及び
コーディネーター的役割を果たす人



ほかにも事業の企画や、教室活動の際にも使用したり、参考としたりしてください。

【どんな人に対応するために？】

「生活者としての外国人」（全ての外国人の生活の側面）

【何をするのか】

生活上の基盤を形成する上で必要な日本語教育を行う
際の内容・方法

・・・について検討





日本語教育小委員会での検討と成果物

5点
セット

カリキュラム案

①H22/5「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案について

ガイドブック

②H23/1「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 活用のためのガイドブック

教材例集

③H24/1「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 教材例集

能力評価

④H24/5「生活者としての外国人」に対する日本語教育における日本語能力評価について

指導力評価

⑤H25/2「生活者としての外国人」に対する日本語教育における指導力評価について

●基本的な考え

「生活者としての外国人」に対する日本語教育は対話による相互理解の促進とコミュニケーション力の向上を図り、「生活者としての外国人」が日本語を用いて社会生活に参加できるようになることを目指す。そのための具体的な内容やプログラムを検討・作成する際の基となる。

●内容

生活の基盤を形成する上で必要不可欠な生活上の行為の事例、そこで必要となる日本語学習の項目と要素（能力記述、言語要素、社会・文化的な情報など）

●利用者

自治体等の日本語教育担当者、日本語教育コーディネーター的役割を果たす人、教室活動を行う人等

【目的】

言語・文化の相互尊重を前提としながら、「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、生活できるようになること

【目標】

日本語を使って…

- 健康かつ安全に生活を送ることができる
- 自立した生活を送ることができる
- 相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができる
- 文化的な生活を送ることができる

・・・ようにすること

● 言語

思考、想像、感情や考えの表現、周囲の人との触れ合いや語り合い等、様々な生活上の行為の中で多様な役割を果たしている。

● 言語学習

学習者が「できるようにになりたい」と望む生活上の行為を適切に選ぶ

● 教室活動

「できるようにになりたい」と望む生活上の行為と教室活動がつながっている⇒体験・行動中心の活動

● 日本語教室から地域社会へ

学習者の主体性、自律的な学び 地域住民との協働活動、対等な人間関係、ネットワークの構築、エンパワーメント、社会参画



標準的なカリキュラム案 5点セット

ハンドブック♥
H25/8

H25/2

生活上の行為の事例
多言語翻訳(23言語)

H23/1

ガイドブック

カリキュラム案の内容を地域や外国人の状況に合わせてときのポイントの解説

H22/5

カリキュラム案

「生活者としての外国人」に対する日本語教育の内容

H24/1

教材例集

行動・体験中心の教室活動における教材の例示

H24/5

能力評価

振り返りの方法とポートフォリオの提示

学習者について



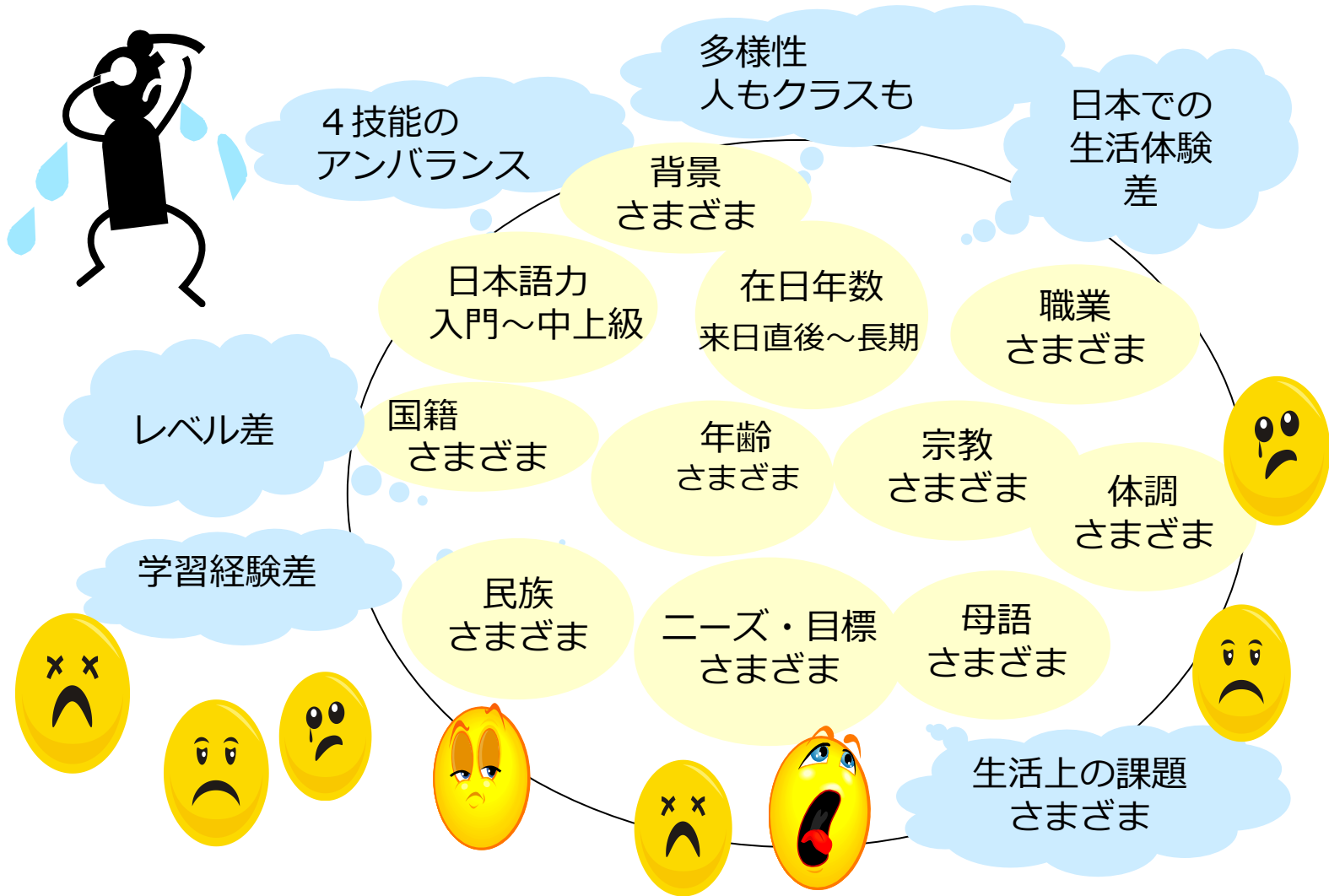
指導者について

行動・体験中心の教室活動への参加による日本語学習、相互理解

指導力評価

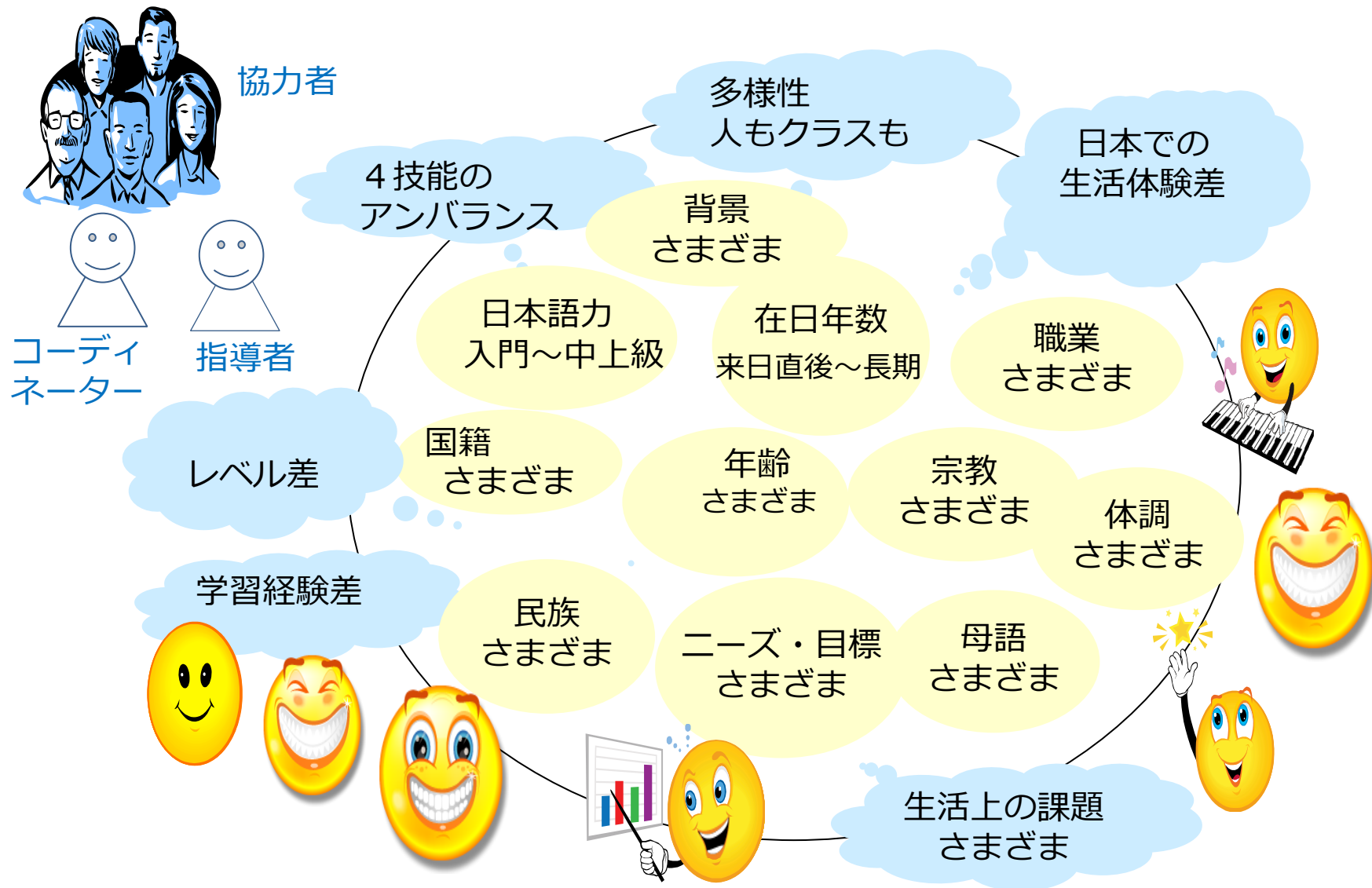
実践の振り返り/点検/改善
⇒実践者のコミュニティの形成

地域の教室に来る「生活者としての外国人」



このようなクラスで教科書に沿って一律に教えるのは困難・・・。
でも、

「行動・体験中心の活動」による共同的な学習で多様性に対応できるのでは？



● 言語

思考、想像、感情や考えの表現、周囲の人との触れ合いや語り合い等、様々な生活上の行為の中で多様な役割を果たしている。

● 言語学習

学習者が「できるようにしたい」と望む生活上の行為を適切に選ぶ

● 教室活動

「できるようにしたい」と望む生活上の行為と教室活動がつながっている⇒体験・行動中心の活動

体験・行動中心の活動には
多様性に対応する様々な学びの
要素が含まれている。

● 日本語教室から地域社会へ

学習者の主体性、自律的な学び 地域住民との協働活動、
対等な人間関係、ネットワークの構築、エンパワーメント、社会参画

教室活動を始めるにあたって

【学習者の状況の把握】

学習者の背景・状況は？
生活課題は？ ニーズは？

【教室では学習者の声をよく聴いて・・・】

先ず信頼関係をつくりましょう
学習者はあなたの「隣人」

【無理なく実現できるところから始めましょう】

そして・・・

PDCA
サイクル

5点セットは教室活動へのヒントがいっぱい！

- **カリキュラム案**
生活上の行為の事例一覧
(多言語翻訳23言語)
- **ガイドブック**
地域や外国人に合わせた日本語教育を実施するためのポイント
- **教材例集**
地域の状況、学習者のレベルに合わせて改変が可能
- **能力評価**
自己評価、目標設定、動機づけ
- **指導力評価**
実践の振り返り、点検、改善、地域コミュニティの改善

2 事例紹介－定住支援施設における難民への日本語教育の現場から－

【対象】 条約難民とその家族

【教育目標】 難民およびその家族が日本社会で自立した生活を営むために必要な日本語力をつけるため、「生活者のための日本語教育」を実施
→カリキュラム案の「目的、目標」と共通

【学習者の年齢】 10代～60代

【在日期間】 数ヶ月から十数年

【出身国】 アジア、アフリカ（ミャンマーが多数）

【クラスと学習者の特徴】

- 在日期間、年齢、学習経験、国籍、民族、母語等が多様
- クラス内 レベル差が非常に大きい。（入門者から中級まで）
一人の学習者の内の4技能の力がアンバランスである。
- 難民特有の背景がある

条約難民クラスにおける指導方針

【エンパワーメント】

→ ハンドブック p.28
コラム⑦

ありのままの自分に自信をもち、
自己表現していく力をつける日本語教育

【人間関係構築力】

→ ハンドブック p.28
コラム⑥

日本語で他者と関わり、良好な人間関係を
構築していく力を育てる

【自律学習能力】

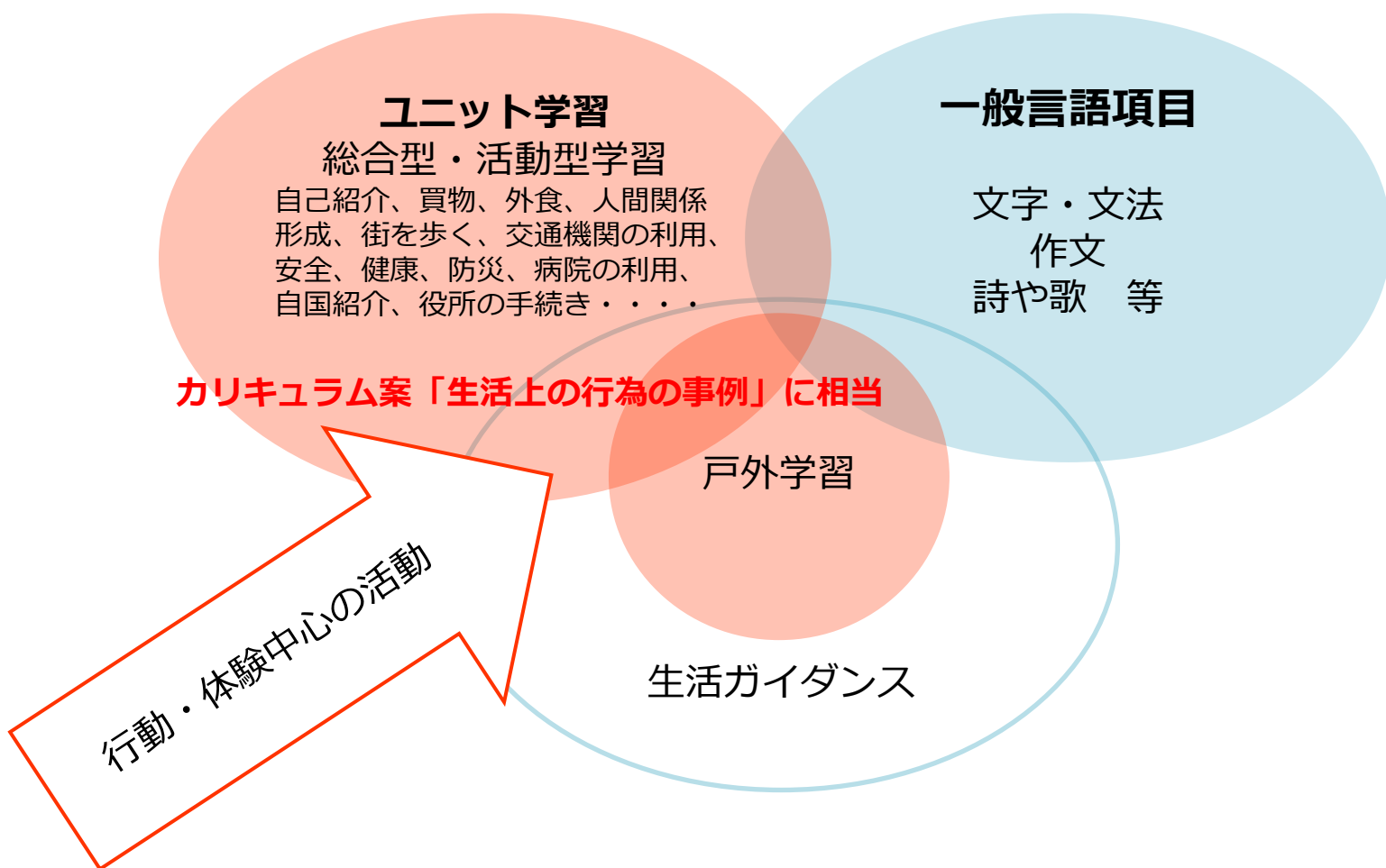
→ 能力評価

自律的に学習していける力を育てる
学習カウンセリング、毎日の学習日記、ファイリング指導
自己評価、ポートフォリオ作成などを通じた学び方の指導

(ハンドブックP28)
獲得された意思疎通の手段により、**人とつながること**、言葉の壁によって発揮できなかった**自分らしさや力**を取り戻したり、発揮できたりするようになること、そして**社会の一員として自立し**、社会生活のあらゆる領域に**参画**すること「**エンパワーメント**」を実現することによって初めて目標に到達したといえることができます。

指導方法・内容

- 教室を「社会」と捉え、本物のコミュニケーションを言語の学びに結びつける。
- 相互尊重による対話を促し、自己表現をサポートする。
- 文型積み上げではない。文法は文脈の中で適宜、指導する。



クラス授業における事例 その1

08 自力で移動する (12) 徒歩で移動する

【前提】

生活空間に馴染む → 生活空間が広がる / 生活空間を広げる

教材例集P149より

海外の知らない土地で目的の場所が分らないのはとても心細いもの。目的地までの道を尋ねて、自力で移動できるようになることは大きな自信につながる。

【そのために必要な力は何？】

知らない人に話しかける力、
ことばと表現、街中の表示を読み取る力 等

カリキュラム案
P62~64

【上記までにもっていくステップ 1~4】

身の回りのモノの名前に親しむ 位置関係の言葉、
人と関わるときの表現

センター内探検



地域探検



地図を描く



発表する

これらの活動を通してなんでも学習になることを教える

イメージ
をつかむ

町へ出かけよう - 地域探検 -

教材 1 教室周辺の町や地図を示して対話へと誘う

ここは知っている？これは何？
どうやって教室までくるか等
改めて説明するとなるとなかなか難しいもの
言葉や表現の練習をする。

教材 2
ことば・表
現を知る



Unit 4 WS

どうやって行きますか

①この道を いきます (この道を まっすぐ いきます)

②角を まがります (角を 右に まがります ふたつめの角を 右に まがります)

③横断歩道を わたります

こうえん e b

d ひょういん

ほんや せんこう ほんや h

ごみかん



図書館(としやかん)
銀行(ぎんこう)
警察署(けいさつしょ)
交差点/交差点 (かいはん/かいはん)

体験・行動
する

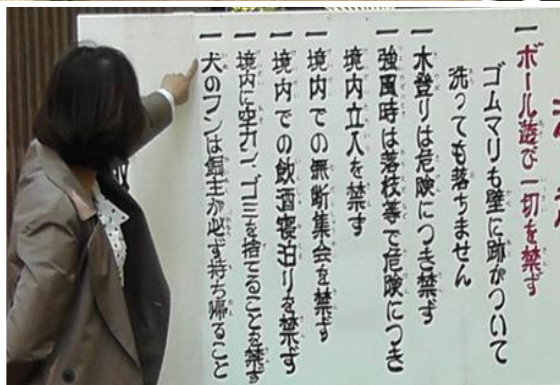
さあ、町に出かけよう！

ハンドブックP22 コラム⑤

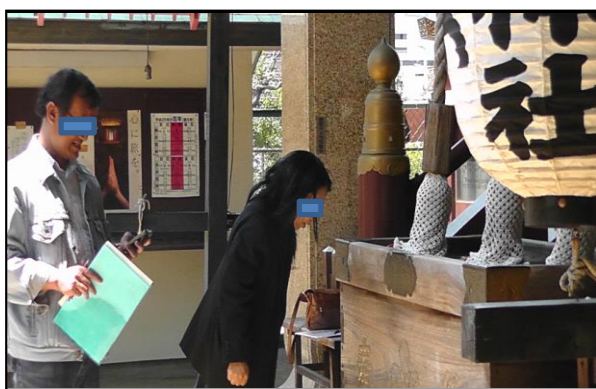
実際に町を歩きながら、言葉を学ぶ。メモする

1204040 目的地
までの道を尋ねる

古本屋に
立ち寄る



生活漢字を読む



賽銭箱を覗く



写真に撮る

発展的な
活動

町で調べたことをまとめて発表する

ガイドブックP41
(4)プロジェクトワーク

協働で地図をつくる

力を合わせて発表する

質問に答える



(補足) 「地域探検」の前の段階でしていること

モノの名前を知る

「なんですか。どこにありますか。」

***なんでもインタビュー _____ さんに 聞きました。 |
 _____ について、聞きたいんですが、いま、ちょっといいですか。 |
 この地図で、どこですか。 |

1	聞きたいこと	わかったこと
1		

ガイドブックP42
 (5)インタビュー・アンケート

センター内探検

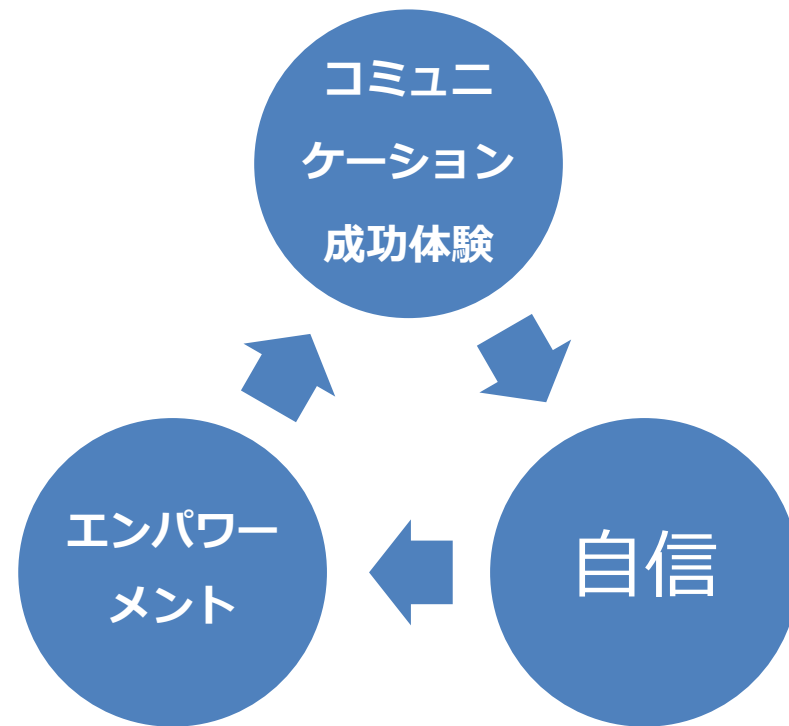
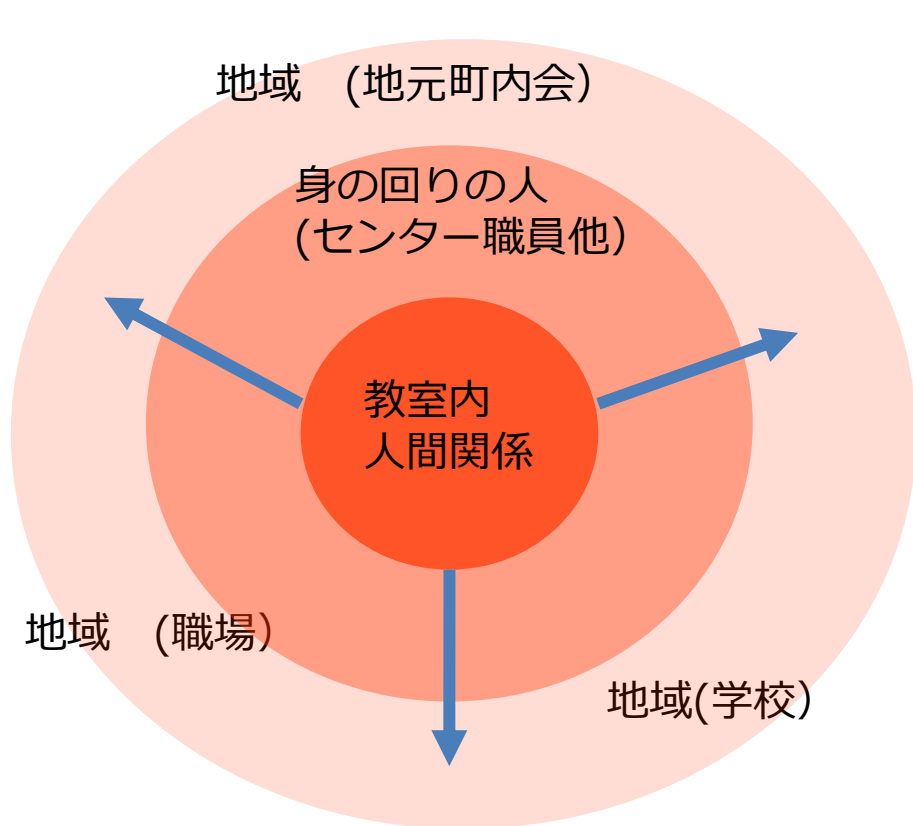
センター発見ツアー！
 どんな部屋？ 荷がある？ 荷するところ？ |

生活上の行為の事例(買い物等) にも有用

クラス授業における事例 その2

(31) 人と付き合う (35) 地域社会に参加する

【人間関係構築力も一歩一歩】



教室から教室外へ、そして地域へ！

ハンドブックp28
コラム⑥社会参加

人間関係構築力 Step by Step

Step1 クラス内で

教材例集

(31)人と付き合う

(31)活動2 - どうぞよろしく!

自己紹介

はじめまして+

なまえ、
です..
とよんでください..
くに、
から..
きました..
うち..
に すんでいます..
わたし+

かぞくは、
にんです..
です..
わたしのかぞく+

にほんごきょうしつで..
が ぶんきょうしたいです..
(好きなことをかいてください)..
どうぞよろしくおねがいします..

クラスを一つの学習共同体にする

名前、名前の意味、出身、家族、住んでいるところ、趣味、仕事

いつ?..
だれど?..
どこから?..
10月
どこに?..
どうきょうど..
わたしの かぞく+

わたし?
なんにん?..
なんさい?..
どこに?..
教材例集p.154~

Step 2 教室の一步 外で

教材例集(31)
人と付き合う

活動: 身近な人にインタビュー

あなたに□聞きたい♡
センターのひとにインタビュー>>

ユニット

好きな〇〇は?..

どうしてですか..

ええ..
そうですね..

おすまいは?..
ごかぞくは?..
しゅみは?..

10ねんご...
20ねんご...□..

ああ..
なるほど..
すごい!..

そうですか..
いいですね..

子どものころ、
...□?..

いちばん□..
うれしかったこと

どうでしたか..
それから?..

あなたの□いちばん..
たいせつなものは?..

たとえば?..
ほんとうですか..
すてきですね..

活動:インタビューをまとめる

インタビューをして

1. どんなことが、わかりましたか。

〇〇さん はおじいさまとちくせんじゆにおいで
いそがしおくさんといしおにすんでいます。おくさんは
-しゅかんに四かいはたりアウします。〇〇さんの
うちのとなりは スカイツルが あります。でも うち まで 出た
ことは ありません。子どものころ は 公園の パイロット に なり
たい かった です。でも おとな になっ たり たり かいと ころ
が ころく たり ました。そして いちばん うれしかった
ことは さいはらに ころもが ぬれ た とき です。〇〇さん
の おかあさんの いとこに ころもが 八人 います。
〇〇さんは スカイパー の いきかたを おしえて たり ました
..

2. ~さんは、どんな人でしたか。

〇〇さん は かんこびおた かった です。

3. インタビューをするまえとあとで ちがうところがありましたか。

はい、 ありました。 めが ら せ した こと です。

4. インタビューをして、どんなことを おもいましたか。

おもしろい。 かった です。

活動： インタビュー（身近な人をもっとよく知る）

☆インタビューしましょう

だれに？何に？何を？をききたいですか。□がながえましよう。
きいたら、こたえを□メモしましょう。



ユニット

★□□□□□□□□さんに話をききました。

	しつもん	こたえのメモ
①	
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

☆インタビューして、どんなことがわかりましたか、どう思いましたか。

おいたら、こたえを □メモしましょう。



キ

★ □□□□□□□□さんに話をききました。

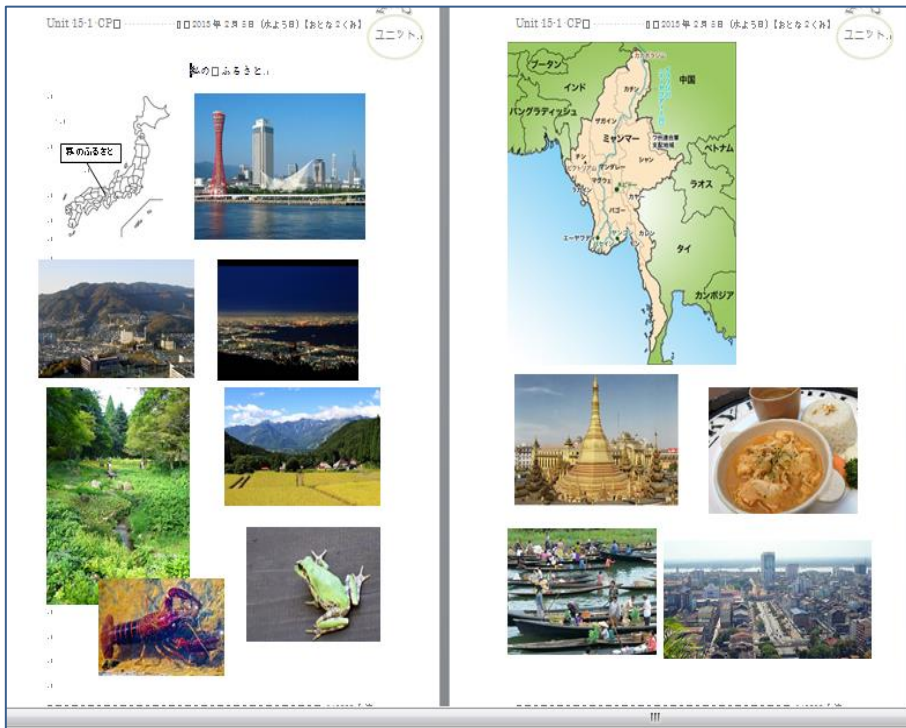
	しつもん	こたえのメモ
①	- どんな時に一番怒りますか。 - 怒った時どうなりますか。	- 言ったとおりやってない時に怒ります。 - ぜんぜんしゃべらないで <u>カカガ</u> がたくなる <u>赤く</u> 。 足 <u>のつま</u> から <u>あたま</u> の <u>てん</u> <u>まで</u> <u>ひ</u> が <u>出る</u> ように <u>な</u> っ て <u>ひ</u> に <u>き</u> っ ち っ 。
②	- 自分の <u>みんな</u> の <u>文</u> が <u>ど</u> <u>ん</u> <u>か</u> の <u>中</u> で <u>何</u> が <u>一</u> <u>番</u> <u>す</u> <u>き</u> <u>で</u> <u>す</u> 。	- ないです。- ほんとは。 - 舅の音もおばうさんにさせるまつりです。
③	- 世の中で一番やりたいものは何ですか。	- せかい <u>り</u> <u>こ</u> う に <u>行</u> <u>き</u> <u>た</u> <u>い</u> <u>で</u> <u>す</u> 。
④	- やりたくないものは何ですか。	- さら洗いです。 (しゃぶの仕事がぜんぶいやだ)
⑤	- もしかして、この地球がなくなったら、一人だけ生き残るときに何を大切にしますか。	- とくに <u>ない</u> <u>で</u> <u>す</u> <u>け</u> <u>ど</u> 、もしかしたら <u>将</u> <u>来</u> <u>自</u> <u>分</u> <u>の</u> <u>子</u> <u>ど</u> <u>を</u> <u>た</u> <u>す</u> <u>け</u> <u>る</u> <u>か</u> <u>め</u> <u>し</u> <u>れ</u> <u>ま</u> <u>せ</u> <u>ん</u> 。
⑥	- みんなのために自分がやってあげたい物とか、みんなのこころをどうか <u>あ</u> <u>か</u> <u>さ</u> <u>ば</u> <u>い</u> <u>い</u> <u>か</u> <u>と</u> <u>ん</u> <u>が</u> <u>え</u> <u>る</u> <u>こ</u> <u>と</u> <u>?</u> <u>あ</u> <u>る</u> <u>け</u> <u>ど</u> <u>て</u> <u>き</u> <u>な</u> <u>い</u> 。	- 悲しい、

☆インタビューして、どんなことがわかりましたか、どう思いましたか。

- * 明るくておもしろい人ですが、怒る時はすごくこわそうです。
- * 2人 → 自分のみんなについては こ ん を か た く 考 え せ て、やる気もあるが め し れ ま せ ん け ど あ き り め た い で す 。
- * まわりの人と集ってにぎやかさ 楽 し い こ が 好 き で 家 事 が さ り い と 知 り ま し た 。

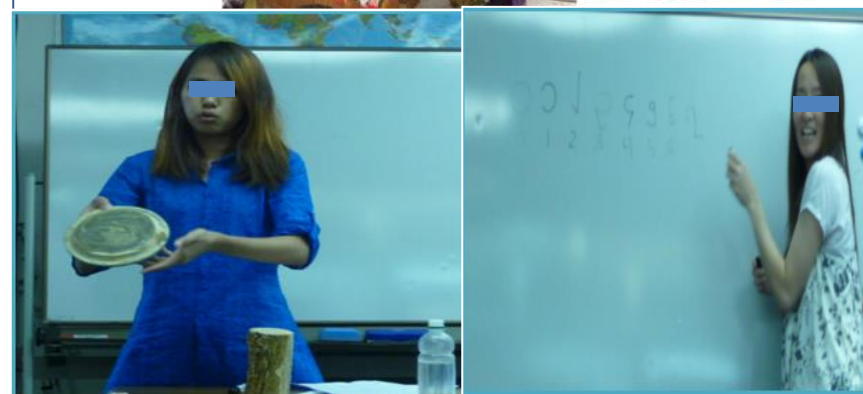
Step 3 地域に出て行く準備

活動：自国紹介



教材例集 (31) 人と付き合う

活動：あなたがコーチ



Step 4 地域と共に行事を行う

活動： 七夕交流会



フォーマルな自己紹介を体験

教材例集

(31) 人と付き合う

(35) 活動4行事に参加しよう



自国紹介



ミャンマーの化粧タナカを体験



協力者も楽しい・・・



一緒に短冊に願いを



母国の手遊びと一緒に



浴衣を着せてもらう



輪になって盆踊り



町会の人たちの前で発表

地域の行事に参加する

体験(たいけん)・行動(こうどう)する

(35)地域社会に参加する

活動(かっどう)3-分(ぶん)からないこと(こと)を聞(き)こう

(1)どんなことが書(か)いてありますか。

盆踊りのお知らせ

〇〇町会長 山田一郎

暑中お見舞い申し上げます。
盆踊りを下記のとおり、盛大に開催いたします。
皆様お誘いあわせの上、ご参加ください。



■ 日時 8月23日(土) 8月24日(日)
午後 7時~9時

■ 場所 大森八幡神社

*小雨決行

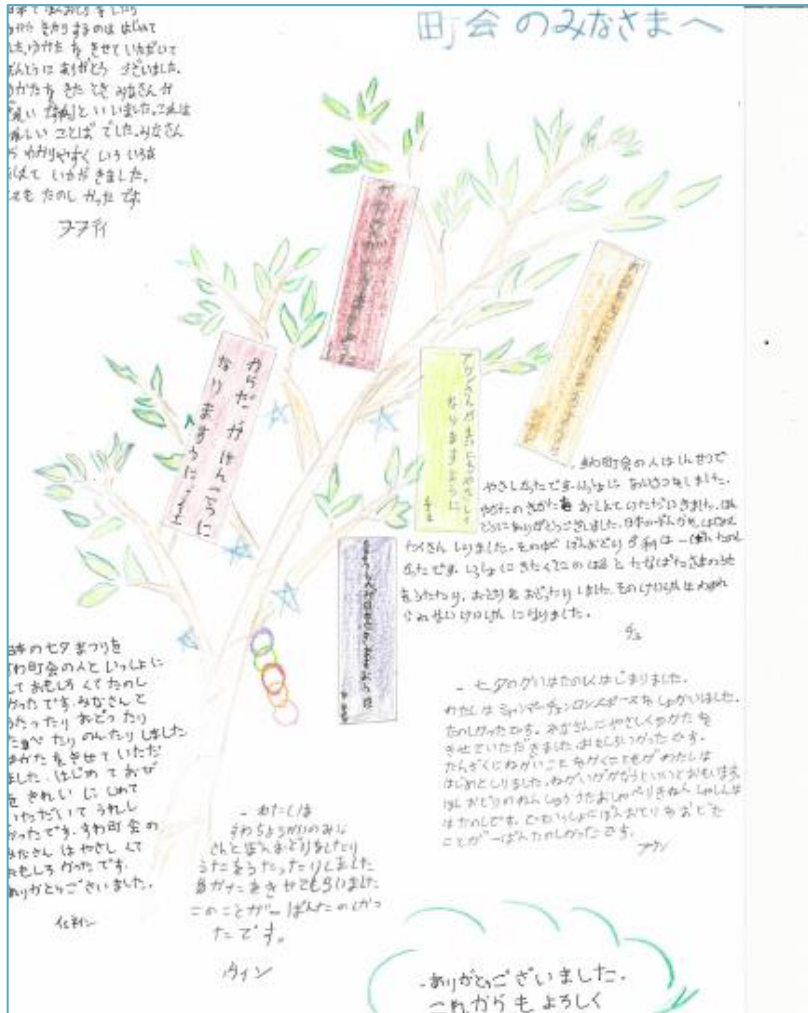
* 盆踊りの講習会を、8月21日(木)午後7時より、
大森八幡神社にて行ないます。

教材例集(35)地域社会に参加する

一度体験すると自信となって
次は一人でも参加する気になる。

地域と共に暮らす力をつける

活動振り返り



当初はなんとなく遠慮がち・・・



こんなに自然な交流が・・・



町会へのお礼状

日本語指導者、コーディネーターは協力者との連携のもと、
学習者の世界を広げる手伝いをする存在



ハンドブック<コラム④> 地域における日本語教育の 多様な学び

- ・ 学習者の主体性を尊重
- ・ 自律的な学びを促進
- ・ 地域住民との協働活動
- ・ 人間関係構築力

ハンドブック<コラム⑤> 行動・体験中心の教室活動

- ・ 言語・社会・文化的な知識
- ・ 生活上の行為が行えるようになることを目指して。
- ・ 可能性は無限

ハンドブック<コラム⑥> 社会参加

- ・ 言語・文化の相互尊重
- ・ 外国人の社会参加の促進
- ・ 多文化共生社会実現のための
共通語としての日本語学
習の促進

ハンドブック<コラム⑦> エンパワーメント

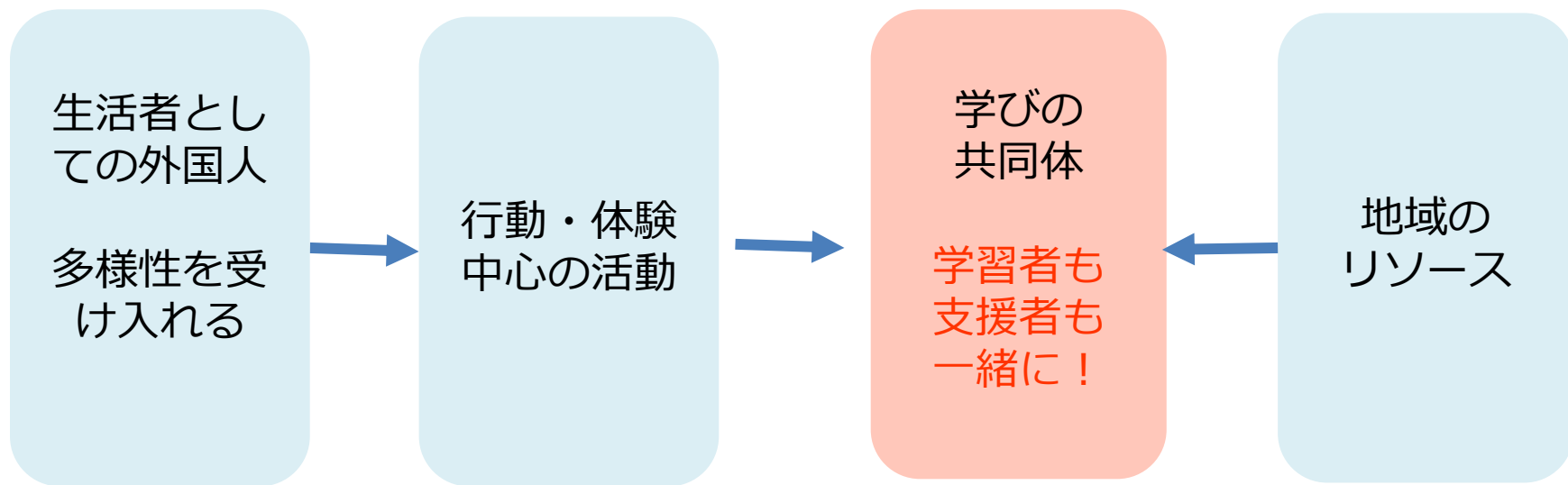
- ・ 自信をとりもどし
- ・ 自己実現することを後押し
- ・ 社会の一員として自立
- ・ 社会生活のあらゆる領域に
参画することを促進する



3 グループワークタイム

【前提】 教室に来る学習者の多様性を受け入れ、行動・体験中心の活動を通して学びの共同体をつくる

【対象】 成人を主な対象とする「生活のための日本語を学ぶ教室」



【課題A】 人とつながる

【課題B】 自力で移動する

ワークの段取り

Step1. はじめに

Step2. 自分の連れてくる学習者をメンバーに紹介

どんな学習者で
構成される教室に
なりますか

Step3. 教材例集を見ながら課題A、課題Bについて具体的な事例を
考えましょう。

Step4. 皆のアイデアをつなぎながら、どんな活動が
できるか具体的な活動を 班ごとに書き出してみよう。

Step5. 活動の流れをまとめてみましょう。

今日は小さな
活動でOKです

Step6. 結果のシェア

Step 1

0-0自己紹介

名前 + α (名前の意味)

0-1 班の名前を決めてください

教材例集(31)
人と付き合う

活動2 どうぞよろしく

(模造紙に記入)



Step 2

- 自分の想定する学習者について、ポストイットにメモしてください。

(イメージが湧かない人はパスもOK)

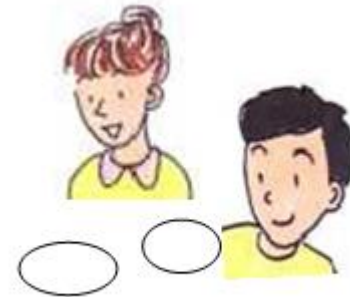
1 国籍・言語

2 性別

3 何歳位？

4 どうして教室に連れてくる？

5 できれば簡単な似顔絵も・・・😊



- 模造紙の中央に貼りながらメンバーに紹介してください。

Step 3

- 来日間もない外国人が生活上の基盤を形成する上で必要であると思われる生活上の行為の中で・・・

【課題A】 人と付き合う

具体的にどんな生活上の行為の事例が考えられるでしょうか。
どんな教室活動が考えられるでしょうか。

[教材例集 P.154～P.166 \(3\)人と付き合う](#) を参照してください。

【課題B】 自力で移動する

具体的にどんな生活上の行為の事例が考えられるでしょうか。
どんな教室活動が考えられるでしょうか。

[教材例集 P.143～P.153 \(3\)徒歩で移動する](#) を参照してください。

Step 4

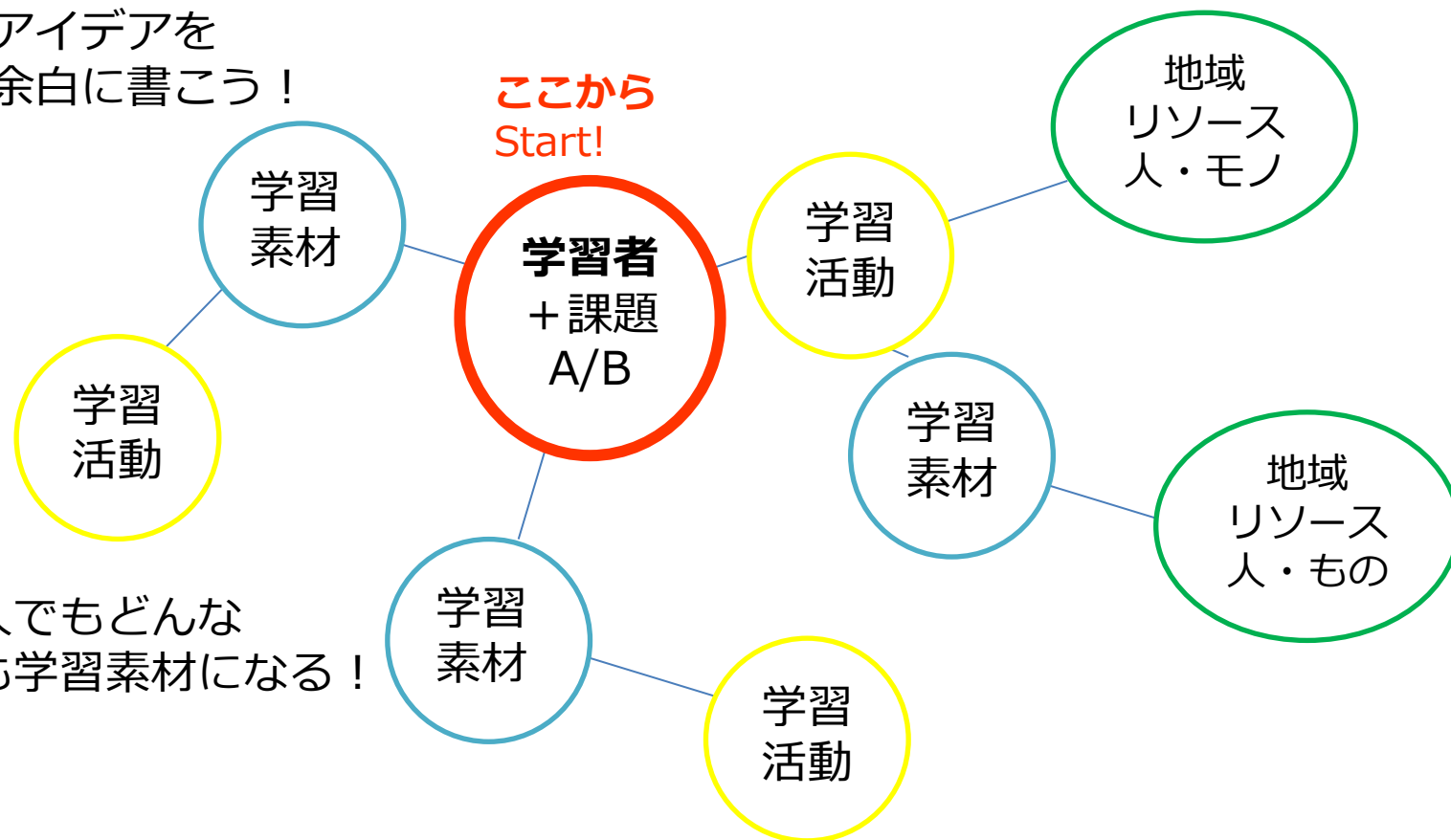
グループ名

参加者名

では、具体的な**行動・体験中心の活動**をデザインしてみましょう！

活動プラン： イメージの具体化

出てきたアイデアを
どんどん余白に書こう！



モノでも人でもどんな
出来事でも学習素材になる！

教材例集を参考にしてOK！ しかしあくまでスタートは学習者！

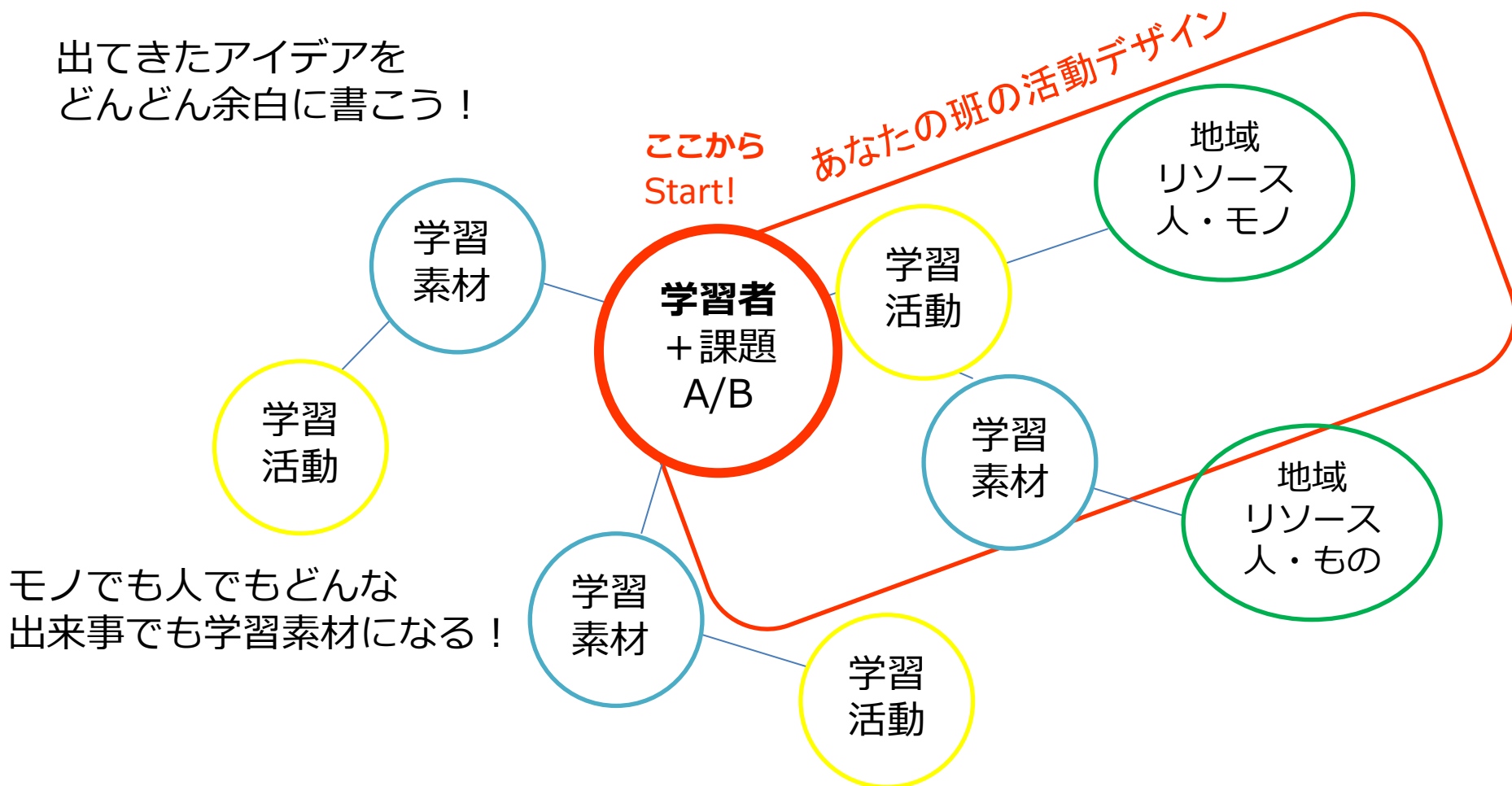
Step 5

グループ名

参加者名

具体的な一連の活動の流れを確認して活動デザインにする

出てきたアイデアを
どんどん余白に書こう！



モノでも人でもどんな
出来事でも学習素材になる！

教材例集を参考にしてOK。しかし、あくまでスタートは学習者！

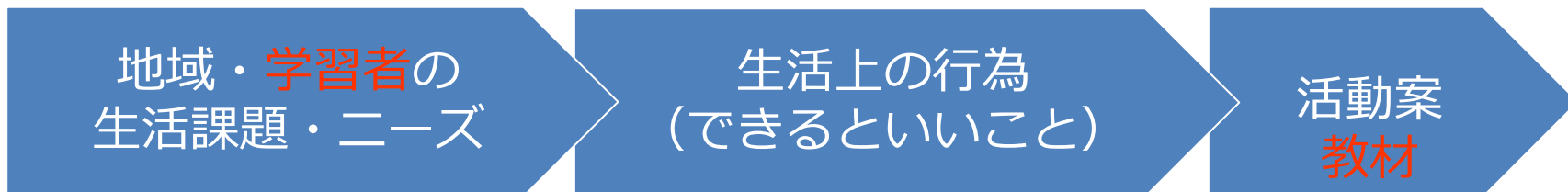
シェアタイム

皆の「アイデア」を共有しましょう。

最後に：教材例集活用の留意点

「教材例集」には、そのまま使えるものもあるかもしれませんが、多くの場合、作り直す必要があるか、まったく使えないものもあります。

**《教材》から「始める」のではなく
《学習者》から「始める」**



だから・・・

「教材例集」は、参考例です。

ご質問があればどうぞ・ ・

本日はここまで。
ご参加ありがとうございました。
今日の出会いを大切に・・・

内藤真知子
machiko.naito@ajalt.or.jp



イラストは文化庁HP 「生活者としての外国人」のための日本語教育
ハンドブック
難民に対する日本語教育「にほんごえじえん」より